

産直365

さんろくご

2022年
7月1回号
(C週)
小暑

pal*system

もっといい明日へ
超えてく



特集

Contents.

産直こめたまご
いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳
すすき産直牛
までっこ鶏

動物たちが食べるもの

一度は崩れた理想図を、
新たな地で積み直す。



episode 1.

花兄園
(宮城県)

1975年設立。2011年の震災と原発事故の影響で、所有していた農場の7割が閉鎖するなど大きな被害を受けました。組合員や生産者仲間からの支えもあり、2017年には宮城県に新農場と、卵の選別・包装を行うGPセンターを新設。2018年にはヒナを育てる施設も再建。現在は約30万羽の親鶏を飼育しています。

卵の安心は、飼料の安心から始まる

卵は毎日の食卓にあがるものだからこそ「安心して、毎日食べられるもの」でありたい。産直産地・花兄園の大須賀木さんは自身の経験から、この思いを突き詰めています。木さんはもともと、企業で鶏の飼料の配合設計を担当していました。ちょうど抗生物質の使用範囲が、人から動物へと拡大した時代。薬剤を多用して育てた親鶏から産まれる卵が、はたして「安全」だと言えるのだろうか。そんな木さんの疑問と不安から、花兄園は始まったそうです。

「震災前は、かなり理想に近い飼料でやれていました。自社で作ったり、独自で原料を輸入したり。でも震災で、積み上げてきたものが一気に崩れてしまった。飼料メーカーの廃業などもあり、今は理想から少し離れているのが実情です」。木さんの静かな、けれど口惜しそうな声に、11年前に失ったものの重さを痛感します。

それでも歩みが止まったわけではありません。花兄園で現在、「こめたまご」の親鶏の飼料に配合している飼料米は、地元「JA新みやぎ」で作られたものを選んでいきます。

「どう生産しているか日々目の当たりにしているため、私としては一番安心できる飼料原料です。安全な飼料で育ったうちの鶏の堆肥を使って栽培してもらえば、なお理想的ですね」。さらに後継者の裕さんは、米以外の飼料原料の国産化にも関心を向けています。鶏卵生産者仲間が始めた、国産飼料90%以上で育てる「平飼いたまご」の取り組みが、「安定的な国産飼料活用」のヒントになれば」とのこと。

「食べる人がより安全・安心なものを求めるなら、こたえ続けていきたいですからね」(裕さん)

(文/西谷真実)



取材した人

大須賀 木 さん、裕 さん

木さん(写真左)：1934年宮城県生まれ。食品メーカー勤務の後、花兄園を設立。
裕さん(写真右)：1972年宮城県生まれ。28歳から花兄園での生産に携わっている。



pal

お米20

コトコト105

産直こめたまご(赤玉またはピンク玉)

6個(MS~LL) 198円(税込214円)

赤系卵の飼料をベースに20%以上米を配合したエサで育てた親鶏の卵。飼料の自給率向上に貢献。賞味15日

パルシステムの産直やツアーの情報はこちら！

パルシステム 産直

検索

※カタログにより注文番号が異なりますのでご注意ください。

健康づくり＝味づくり！ 鶏も元気な「飼料の秘密」。



岩手県

episode 4.

までっこチキン 生産者連絡協議会 (岩手県)

岩手県の52農場で生産。2009年にはパルシステムと連携して飼料米の取り組みを開始。資源循環型農業を実践しています。ほかに、鶏ふんを活用したバイオマス発電を行いパルシステム電力へ供給するなど、多方面でパルシステムとの関わりが深い産直産地です。

光と風の入る鶏舎で ストレスのない生活。

効率を重視する日本の養鶏施設は窓のない鶏舎で飼育することが多いですが、「までっこ鶏」はおがくずを敷き詰めた光と風の入る鶏舎で育ちます。太陽の光を浴びて、新鮮な外気のなかでくらししています。広々とした鶏舎を走り回り、よく食べ、すくすくと健康に育ちます。

飼料に抗生物質、合成抗菌剤不使用。 薬剤に頼らない環境づくり。

鶏がいらない空舎期間中の鶏舎の洗浄、消毒を徹底的に行い、衛生的な環境をつくります。これにより、抗生物質、合成抗菌剤を使用しないで、健康的な鶏を育てています。加えて、早朝4時から深夜12時まで農場長が日に何度も見まわりを行い、小さな変化も見逃しません。



窓から太陽光が鶏舎内へと入ってきます。窓の開閉で温度管理も。手間はかかるものの鶏にとって最善の環境をめざし、日々飼育に取り組んでいます。

「動物性たんぱく質は、与えすぎる肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

さらに「までっこ鶏」の飼料には、

「動物性たんぱく質は、与えすぎる

肉の風味をよくするもうひと工夫も。」

成長段階に応じた飼料選び

「うちの鶏はあっさりしていて、くさみが少ない。さめてもおいしさが変わらないんです。までっこ鶏の魅力を知ってもらうには食べてもらうのがいちばん。組合員さんに聞いた食べ方ですが、塩焼きにすると素材の味をダイレクトに感じられておすすめです。食べたことがある方も、まだの方もよろしく願います！」

(文／池上公二)



取材した人

下館 秀行さん

1972年、岩手県生まれ。好きな鶏料理は「塩焼き」。ひそかなブームは、農場の職員といっしょに裏の山へ山菜採りへいくこと。「持ち帰ったタラの芽やふきは、妻が天ぷらや煮物にしてくれるんですよ」

「まず、鶏の成長に必要なのは十分なエネルギーです」と下館さん。鶏の飼料は、半分以上がとうもろこしを中心とした穀物類。鶏の成長段階ごとに原料の配合比率を調整し、消化しやすいよう粒の大きさなどを考え、食べやすい飼料を心がけています。さまざまな栄養をバランスよく与えることも大切とのこと。たとえば、カルシウムやミネラル類は不足すると発育遅延につながります。飼料メーカーと連携をとり、理想の飼料を与えることで鶏は健康に育ち、健康だからよく動きまわり食欲も旺盛になります。

「まず、鶏の成長に必要なのは十分なエネルギーです」と下館さん。鶏の飼料は、半分以上がとうもろこしを中心とした穀物類。鶏の成長段階ごとに原料の配合比率を調整し、消化しやすいよう粒の大きさなどを考え、食べやすい飼料を心がけています。さまざまな栄養をバランスよく与えることも大切とのこと。たとえば、カルシウムやミネラル類は不足すると発育遅延につながります。飼料メーカーと連携をとり、理想の飼料を与えることで鶏は健康に育ち、健康だからよく動きまわり食欲も旺盛になります。

「まず、鶏の成長に必要なのは十分なエネルギーです」と下館さん。鶏の飼料は、半分以上がとうもろこしを中心とした穀物類。鶏の成長段階ごとに原料の配合比率を調整し、消化しやすいよう粒の大きさなどを考え、食べやすい飼料を心がけています。さまざまな栄養をバランスよく与えることも大切とのこと。たとえば、カルシウムやミネラル類は不足すると発育遅延につながります。飼料メーカーと連携をとり、理想の飼料を与えることで鶏は健康に育ち、健康だからよく動きまわり食欲も旺盛になります。

「まず、鶏の成長に必要なのは十分なエネルギーです」と下館さん。鶏の飼料は、半分以上がとうもろこしを中心とした穀物類。鶏の成長段階ごとに原料の配合比率を調整し、消化しやすいよう粒の大きさなどを考え、食べやすい飼料を心がけています。さまざまな栄養をバランスよく与えることも大切とのこと。たとえば、カルシウムやミネラル類は不足すると発育遅延につながります。飼料メーカーと連携をとり、理想の飼料を与えることで鶏は健康に育ち、健康だからよく動きまわり食欲も旺盛になります。

「まず、鶏の成長に必要なのは十分なエネルギーです」と下館さん。鶏の飼料は、半分以上がとうもろこしを中心とした穀物類。鶏の成長段階ごとに原料の配合比率を調整し、消化しやすいよう粒の大きさなどを考え、食べやすい飼料を心がけています。さまざまな栄養をバランスよく与えることも大切とのこと。たとえば、カルシウムやミネラル類は不足すると発育遅延につながります。飼料メーカーと連携をとり、理想の飼料を与えることで鶏は健康に育ち、健康だからよく動きまわり食欲も旺盛になります。

「まず、鶏の成長に必要なのは十分なエネルギーです」と下館さん。鶏の飼料は、半分以上がとうもろこしを中心とした穀物類。鶏の成長段階ごとに原料の配合比率を調整し、消化しやすいよう粒の大きさなどを考え、食べやすい飼料を心がけています。さまざまな栄養をバランスよく与えることも大切とのこと。たとえば、カルシウムやミネラル類は不足すると発育遅延につながります。飼料メーカーと連携をとり、理想の飼料を与えることで鶏は健康に育ち、健康だからよく動きまわり食欲も旺盛になります。

「まず、鶏の成長に必要なのは十分なエネルギーです」と下館さん。鶏の飼料は、半分以上がとうもろこしを中心とした穀物類。鶏の成長段階ごとに原料の配合比率を調整し、消化しやすいよう粒の大きさなどを考え、食べやすい飼料を心がけています。さまざまな栄養をバランスよく与えることも大切とのこと。たとえば、カルシウムやミネラル類は不足すると発育遅延につながります。飼料メーカーと連携をとり、理想の飼料を与えることで鶏は健康に育ち、健康だからよく動きまわり食欲も旺盛になります。

冷凍

コトコト

443

きなり

436

きなりセレクト

342599

までっこ鶏ムネ肉

400g **380円**(税込410円)

淡泊な味わいを生かして焼き物や蒸し物に。産直肉。賞味180日

特別価格

103円/100g

〈岩手農協チキンフーズ〉岩手

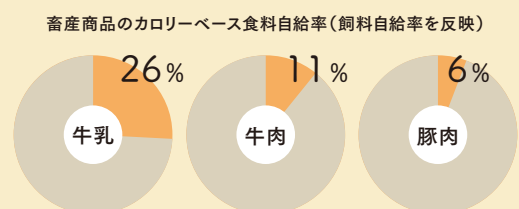
もっと
知りたい!

いま、動物たちの飼料は国産に大転換中！

column

国産なのに輸入依存!?

卵、牛乳、肉などの畜産商品は一般的に、「生産」が国内でも、与える飼料の多くを輸入に依存しています。なぜなら、北米などの広大な土地で効率よく大量生産した飼料は、そのぶん価格が安いから。中山間地が多く大量生産がむずかしい日本では、生産しても高価になるため、生産・利用ともにまだまだ広がっていません。



出典：農林水産省「令和2年度食料自給率について」

国産飼料はまだ高価…でもいいこともたくさん!

国産飼料はまだ高価ではありますが、輸入品の価格高騰や供給不安を背景に、価値が見直されつつあります。世界の情勢に振り回されにくいため「安定生産/供給」が実現できる、誰がどこでどのように作ったか履歴を追いやすい、耕作放棄地や休耕田を活用できる……など、メリットも多いのです。



『米沢郷鶏』の産地、米沢郷牧場(山形県)の飼料用米の田んぼ



飼料に配合する前の飼料用米

国産飼料の取り組みを産地・生産者と実践中

今回誌面で紹介した産地・商品以外にも、パルシステムでは産直産地とともに、飼料の国内自給率アップに取り組み続けています。2008年に商品化した、国産米を与えて育てる『日本のこめ豚』は今年4月から、飼料用米配合率を30→40%にアップ。同じく4月に、飼料の90%以上を国産に限定した『コア・フード国産飼料で未来につなぐ平飼いたまご』も予約登録制(※)で新登場。今後も取り組みを拡大・アップデートしていきます。※現在は登録を受け付けていません。

新しいマークに注目!

国産米を配合した飼料で育てた畜産品・加工品を、よりわかりやすく・選びやすくなるように、マークを付しました。数字は飼料への米の配合率を示しています。

お米
40